

昨年度完成した工事・業務を対象に

優良工事等表彰式を開催

高山国道事務所では7月21日（金）、昨年度完成した工事・業務を対象に優良工事等の表彰式を開催しました。

※
今年度の表彰対象の例としては、生産性向上の観点からICT土工を積極的に活用した工事、国道41号現道における急峻な地形の中で実施した工事、交通規制を伴いながら安全に配慮した工事など、他の企業の模範となる取り組みを実施した企業及び技術者を総合的に評価しました。また、表彰対象工事において、専門性を発揮し、工事完成に貢献された協力企業及び技術者等も表彰しました。

この他、7月19日（水）に名古屋で行われた中部地方整備局長表彰の受賞者もご出席いただき、ご紹介、記念撮影をさせていただきました。その後、事務所関係者と受賞者との間で、各工事や業務の経緯や工夫した点、また苦労した事などについて意見交換会を行いました。

なおこの表彰式は、成績等が優秀で顕著な功績を収めた企業並びに技術者を称えねざらうとともに、建設分野の活力の増進と技術の発展を図ることを目的に、毎年実施しているものです。

※ ICTとは、“Information and Communication Technology（情報通信技術）”の略

平成29年度 優良工事等表彰一覧

部 門		会 社 名 又 は 個 人 名	工 事 名 又 は 業 務 名
局 長 表 彰	優 良 工 事	株式会社新井組	平成27年度 中部縦貫丹生川西部地区道路建設工事
	優良工事技術者	株式会社新井組 今村 修二（監理技術者）	平成27年度 中部縦貫丹生川西部地区道路建設工事
	優 良 業 務	一般財団法人計量計画研究所	平成28年度 高山地域交通円滑化検討業務
	優良業務技術者	中央コンサルタンツ株式会社 渡邊 淳（管理技術者）	平成28年度 高山国道橋梁点検設計業務
事 務 所 長 表 彰	優 良 工 事	坂本土木株式会社	平成26年度 41号牧道路整備工事
		株式会社讃建	平成27年度 41号井尻交差点整備工事
		日産工業株式会社	平成27年度 41号久々野・宮道路建設工事
		大山土木株式会社	平成28年度 中部縦貫丹生川高山地区整備工事
	優良工事技術者	坂本土木株式会社 小瀬 太治（監理技術者・現場代理人兼任）	平成26年度 41号牧道路整備工事
	優 良 業 務	中央コンサルタンツ株式会社	平成28年度 高山国道橋梁点検設計業務
	優良業務技術者	一般財団法人計量計画研究所 和泉 範之（担当技術者）	平成28年度 高山地域交通円滑化検討業務
	社 会 貢 献	株式会社長瀬土建	平成27年度 中部縦貫坊方上切地区道路整備工事
	関 係 協 力 企 業	篠田株式会社	平成27年度 中部縦貫丹生川西部地区道路建設工事
			平成27年度 41号井尻交差点整備工事
		向畑技建株式会社	平成27年度 中部縦貫丹生川西部地区道路建設工事
		日特建設株式会社 岐阜営業所	平成26年度 41号牧道路整備工事
		小林鉄筋	平成26年度 41号牧道路整備工事
		有限会社村上設備	平成27年度 41号久々野・宮道路建設工事
		株式会社鉦組	平成28年度 中部縦貫丹生川高山地区整備工事
		株式会社技研ユニティ	平成28年度 中部縦貫丹生川高山地区整備工事
		有限会社井根鉄筋	平成28年度 中部縦貫丹生川高山地区整備工事
		株式会社アクアテック	平成27年度 中部縦貫坊方上切地区道路整備工事
	関係協力企業 専 任 技 術 者	日特建設株式会社 岐阜営業所 福迫 裕文	平成26年度 41号牧道路整備工事
	有 能 技 能 者	株式会社新井組 松本 成明	平成27年度 中部縦貫丹生川西部地区道路建設工事
		有限会社井根鉄筋 裁 行晴	平成28年度 中部縦貫丹生川高山地区整備工事

受賞された皆さん（工事及び業務ごと）



中部地方整備局長表彰



平成27年度 中部縦貫丹生川西部地区道路建設工事



平成26年度 41号牧道路整備工事



平成28年度 中部縦貫丹生川高山地区整備工事



平成27年度 41号井尻交差点整備工事



平成27年度 41号久々野・宮道路建設工事



平成27年度 中部縦貫坊方上切地区道路整備工事



平成28年度 高山地域交通円滑化検討業務



平成28年度 高山国道橋梁点検設計業務



意見交換会の様子

災害対策用機械の操作訓練を実施しました

～突然起こる災害に迅速に対応するために～

高山国道事務所では7月28日（金）に、一般社団法人飛騨三協防災対策協議会と合同で、災害対策用機械の操作訓練を実施いたしました。

今年6月には、長野県南部で震度5強の地震が発生し、高山国道管内でも震度4を観測しました。突然起こる災害に対して、より迅速な被災現場での支援活動を実施するために訓練を行いました。

＜今回操作訓練を行った災害対策用機械一覧＞ 中部縦貫道小鳥トンネル牧ヶ洞電気室構内

照明車



主に夜間に災害復旧作業を行う際に使用されます。

伸縮部分は最大10m近く延ばすことが出来るため、広範囲を照らすことが可能です。（50m先でも本が読めるくらいの明るさ！です）

〈ライトを最大まで伸ばした様子〉



散水車



路面清掃用として使用される車両です。緊急時には蛇口を取り付けて給水車として使用することが出来ます。また、前方に除雪用装備をつけることによって、除雪トラックとしても利用できます。

〈蛇口を取り付ける様子〉



待機支援車

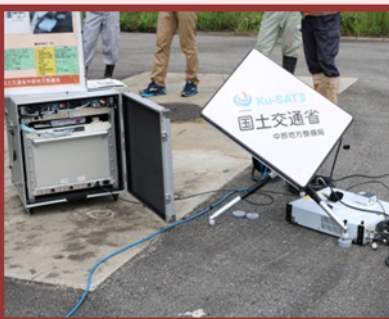


災害が発生した際に、現地派遣者を支援する車両です。ベッドや簡易厨房、発電機などを備えており、寝泊まりすることができます。

〈発電機を固定する様子〉



Ku-SAT



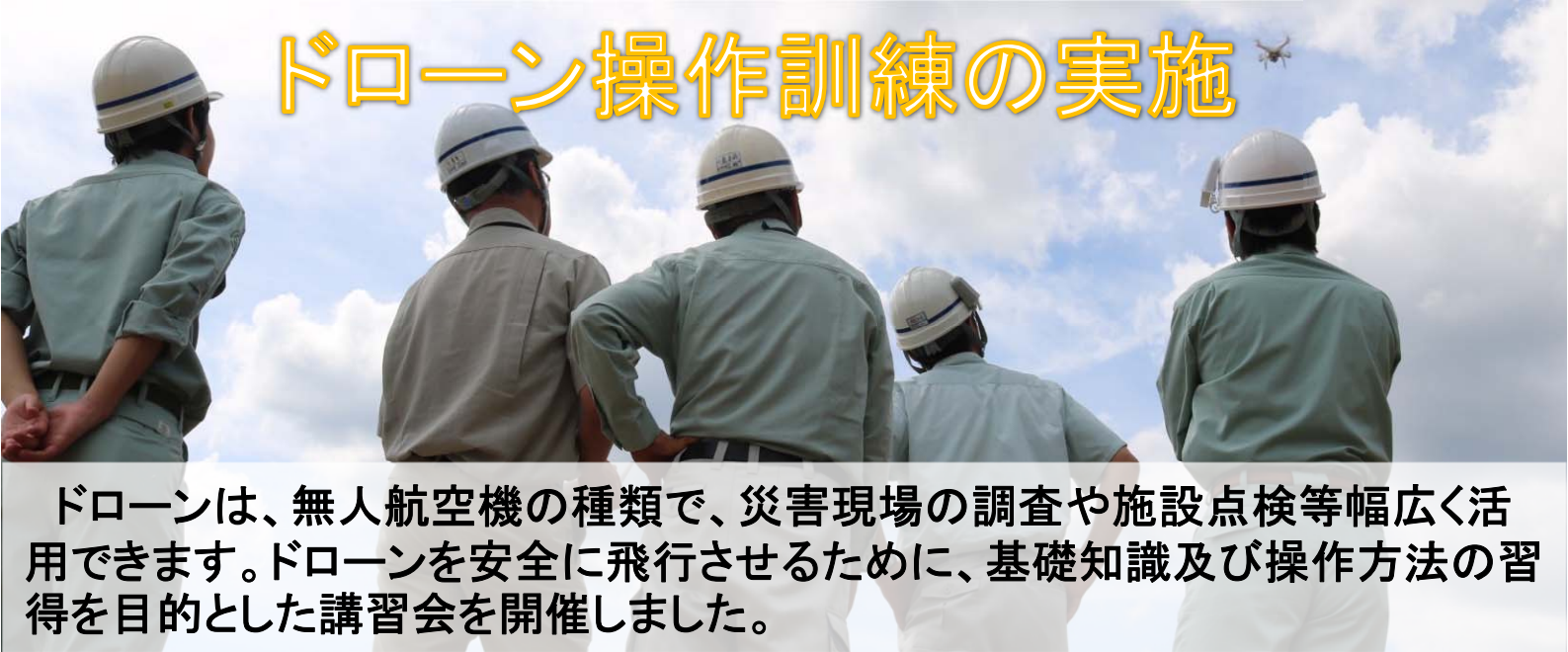
通信衛星を介して、映像の送受信や通話が可能です。

可搬式なので、衛星通信車が行くことができない災害現場で使用できます。

〈衛星通信の周波数に合わせる様子〉



ドローン操作訓練の実施



ドローンは、無人航空機の種類で、災害現場の調査や施設点検等幅広く活用できます。ドローンを安全に飛行させるために、基礎知識及び操作方法の習得を目的とした講習会を開催しました。

講習会(座学)の様子



ドローンの操作説明を受ける職員

実地訓練に先立ち、講師から関係法令や操作方法を学びました。

ドローンの組み立てや、基本操作等を体験しました。プロペラの取り付けが難しく、何度も練習していました。



組み立てる前のドローン

送信機にはたくさんのボタンがあり、一つ一つ説明をいただき、写真や映像の撮り方も教えていただきました。

操作訓練の様子



講習会の後は、操作の実地訓練を行いました。機体の操作が難しく、前後左右に気をつけて飛ばしていました。また、動く速さも自由に変えることが出来るので、最初はゆっくり動かしていました。



送信機には、自動離陸ボタンやリターントゥホームボタン等があり、押すと機体が自動離陸したり、ホームポイント(H)に戻ります。

様々な操作方法を教えていただき、実際に操作練習をしました。

逆走防止対策を強化

～より安全に道路を利用いただくために～

進入出来ません

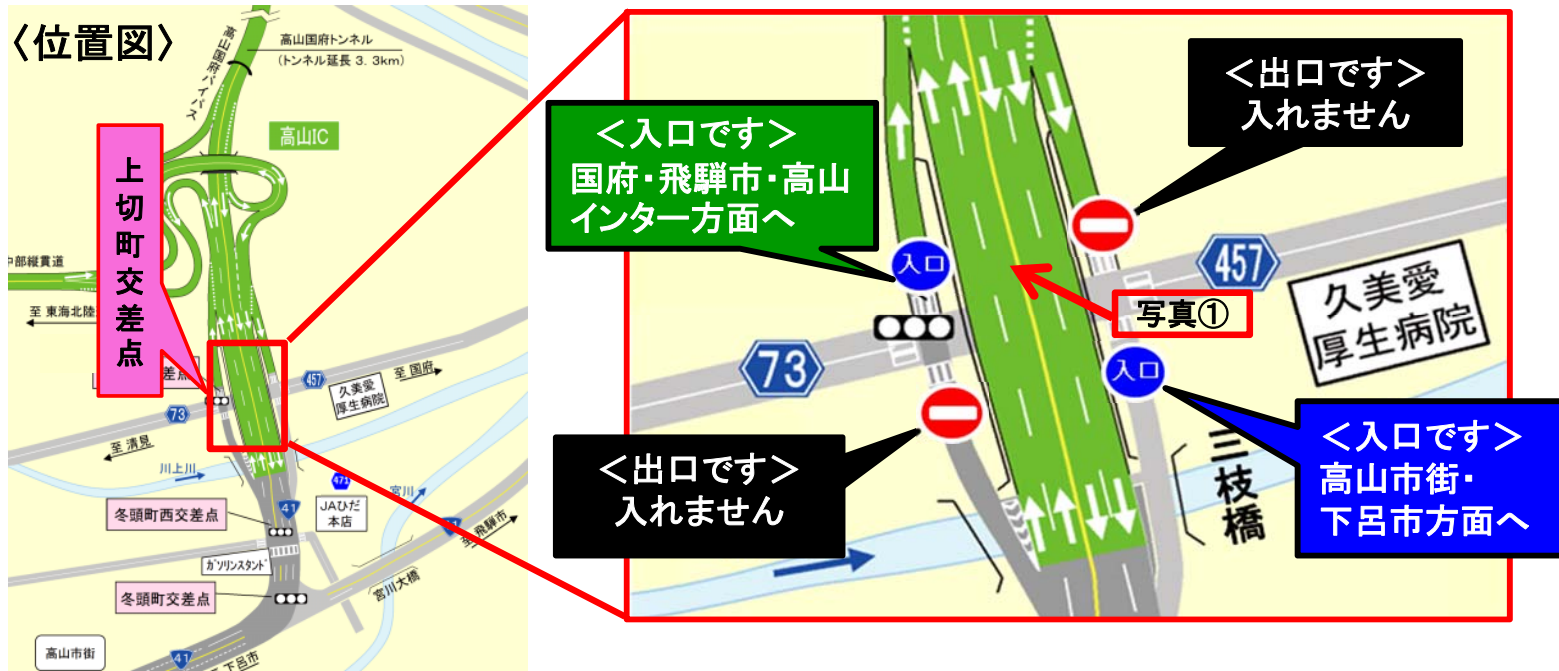
とまれ
逆走
WRONG WAY

とまれ
逆走
WRONG WAY

とまれ
逆走
WRONG WAY

高山国府バイパス上切高架橋 高架下

高山国道事務所では、これまでも逆走防止対策を行ってきました。しかし、対策後においても逆走が発生しており、その多くがお年寄りが運転する車両の誤進入とみられています。このため、逆走発生箇所において「注意喚起看板」及び「矢印表示」の増設による追加対策を実施しました。また、逆走防止看板を掲示するなど、利用者の皆様方への啓発活動を実施します。



写真①



岐阜県警察高山警察署と合同で、追加対策実施箇所の現地点検

飛騨高山高校の2, 3年生による外来生物の防除 ～高山西ICビオトープ“飛騨の森再生”～

中部縦貫自動車道高山西IC内に設けたビオトープ“飛騨の森再生”で生物多様性が進む一方、特定外来生物（オオハングソン）等も進入し始めていることから、8月2日（水）飛騨高山高校環境科学科2, 3年生9名が参加して、ビオトープ内の在来種保護のため、外来生物法（平成17年6月施行）における特定外来生物の「オオハングソン」と、特定外来生物ではありませんが、生態系被害防止外来種リスト（平成27年3月発表）に掲載されている「イタチハギ」の防除を行いました。

オオハングソンの防除作業は、種子の繁殖を防ぐため花が咲き始める7月～8月に実施し、根を残さないよう、また種子・根が飛散しないように手作業で掘り出し、防除後は焼却処分します。

今回、約30分の作業で40株のオオハングソンを防除しました。これまでの防除のおかげで、個体数はかなりの減少が見られます。

イタチハギは、密生したヤブを形成し、伐採してもすぐ萌芽して再生することから、オオハングソンと同じく、根を残さないよう掘り出し、防除後は焼却処分します。

約30分の作業で70株のイタチハギを防除しました。



【熱心に説明を聞く生徒たち】



【オオハングソンの防除】

根を残さないように注意しながら抜き取ります



【イタチハギの防除】根を掘り出して抜き取ります



オオハングソン防除個体数変化



【参加者と防除したイタチハギ、オオハングソン】